卓　話

●田中徳兵衛会員

　地区は、先輩の勧めでロータリー入会 2 年目から出向しています。自分以外の周りの人達は、クラブで会長を経験者でした。講師の依頼もありましたが、ロータリーの知識や経験が無かった為に、話すのに苦労しました。2012-13 年度では第 2770 地区ガバナーをやりました。
　ガバナーが各地区を統括し、そのガバナーをアシスタントしているのがガバナー補佐です。ガバナーが掲げた目標や方針を、クラブの会長と共に達成するために動き、財団や米山奨学の目標達成や、各クラブの活動が目標にいかに近づけるかが役目になります。
また地区では委員会があり、クラブの委員会と連動して、より効果的な活動ができる様に支援しています。管理運営部門、公共イメージ部門、会員増強維持部門、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の奉仕プロジェクト部門、青少年奉仕部門、ロータリー財団部門、米山記念奨学部門からなります。
地区に出向するという事は、委員会へ出向する事になります。地区へ行きたい場合、地区の動きは早いので前年度の 9 月くらいまでに、会長に意思表示をして下さい。
　地区へ出向するメリットとして 3 点あります。
●ロータリーに対する理解が深まります。地区へ行くと、自分のクラブの良いところや足りないところなどに気づきます。
●多くの友人が出来ます。同じ目標に向かって動くので連帯感が生まれます。
●リーダーシップや見識が高められます。

地区へ出向して多くの事を学んで頂き、クラブに戻ってから地域社会の発展に貢献して欲しいと思います。

卓　話

●白井靖会員

　地区へは、2016-17 年度より行っています。
会員増強維持委員会に属しました。それ以降、ロータリー財団部門補助金 VTT 委員会、社会奉仕部門委員会、財団奨学平和フェロー学友委員会を経て、次年度も同じ委員会に出向になります。

**ロータリー平和センター
について**

ロータリー平和センターが設立された理由とその経過

ロータリー平和センターと国際基督教大学（ICU）

1999年4月管理委員会は「平和と紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリーセンター」の創設を承認

開設時の7つのセンター
デューク大学とノースカロライナ大学
チャペルヒル校（米国）
国際基督教大学（日本）
パリ政治学院（フランス）
サルバドール大学（アルゼンチン）
カリフォルニア大学バークレー校（米国）
ブラッドフォード大学（イギリス）
クイーンズランド大学（オーストラリア）

現在の平和センター
デューク大学とノースカロライナ大学
チャペルヒル校（米国）
国際基督教大学（日本）
ブラッドフォード大学（イギリス）
クイーンズランド大学（オーストラリア）
ウプサラ大学（スウェーデン）
終了証取得コース
チュラロンコーン大学（タイ）
マケレレ大学（ウガンダ）2021年より